

# 松風会 NEWS

ゆめクラブ News451 号 2024 年(令和 6 年)3 月号

今年は年明けから、能登半島地震や羽田空港での航空機事故など災害続きの幕開けでした。震源地の地形から道路が損壊、復旧もままならない状況が現在も続いているようです。本災害で不幸にしてお亡くなりになられた方々に衷心より哀悼の意を表します。災害でも地震に関しては事前予知などなく、平素からは建物の耐震化とその際の避難訓練の徹底が必要でしょう。冬の寒さはこれからが本番、関東地方の気候の長期予報では例年よりも暖かく、雨も少ないとのこと高齢者の我々にとっては有難いことです。

2 月度定例会（10 日、土、10：00～11：30）は開催します。当月は 2 班の担当（会場設営と余興）となりますので、よろしく願います。月一回の会員相互の交流の場ですので、大勢のご出席をお願いします。なお、最近会館運営部より戸締り不徹底の注意を受けました。再発防止をお願いします。

## 1. 1 月度定例会（13 日、土、10：00～11：30） 出席者 24 名 （会員 57 名）

- ① 全員で「夢クラブ 松風会の歌」を斉唱。
- ② 誕生会：1 月は 手島歩三さん、新保洋子さん、生田勝子さん、真野郁夫さん、白江久壽夫さん、井野昭子さん の方々です。おめでとうございます。（新保さん、生田さん、井野さん は欠席） お祝い品を差し上げた後、全員で恒例の「ハッピーバースデー」を歌い、各人から返礼のご挨拶がありました。誕生月の方々から「今日まで健康で楽しく生きてこられたのも、こうして皆さんとこのような交流の場があったことが大きい」とのお話がありました。
- ③ 2 月誕生の方々：石川達雄さん、大友百合子さん、伊藤和子さん、大友元春さん、釘宮男也さん、竹田由美子さん、南部静枝さん、明利徹次さん の方々です。  
おめでとうございます。  
1 月の催事：1 班の担当で、ポッチャゲームを楽しみました。1～3 班のゲーム争いを実施、1 班の圧勝の内に終了しました。
- ④ 3 月誕生の方々： 池上升也さん、浦嶋 稔さん、那須嗣夫さん、池上久恵さん、綿貫悦子さん、川口 寛さん、高橋榮子さん、小浜俊江さん の方々です。  
おめでとうございます。

## 2. 連絡事項

- ・老人大学開催：「高齢者の難聴の特徴と対応について」という内容で 2 月 27 日（火）13：30～15：30、老人福祉センター大広間で開催されます。

能登で大地震が発生した。能登は私どもの新婚旅行先であり、珠洲市は、仕事で出かけた所でもあり、風光明媚な軍艦島も崩壊してしまったので、他人事とは思えない。私は 29 年前に大阪で、阪神大震災に遭遇した。その経験を踏まえて、急速地震防災論を、書くことにした。今回の地震は直下型でなくプレート型であるので、南海地震や駿河湾沖の地震を想定して、対策を述べてみたい。

1. 地震が起きたら、すぐ外に出て安全な所へ避難することである。何か持ち出そうと考えてはいけない。着るものだけでよい。プレート型がすぐに大きな揺れが来ないと言われている。揺れはだんだん大きくなって行くので最初の 2, 3 分が勝負である。すぐに逃げなければいけない。津波の発令が出たら 10m 以上の高台へ。松風台ではスリーハンドレッドクラブの入口が良いだろう。
2. 地震の崩壊では、2 階の方が安全だが、2 階ではすぐに逃げられないので、窓の近くの机の下に潜ると良い。そしてすぐに逃げること。
3. 火事が心配である。地震が起こったらすぐ火を消すことである。延焼になったらどうしようもない。消防車も来られないし、消す水もない。取水ができる大きな川も松風台の近くにはない。みんなで火を出さないよう気を付ける以外に方法はない。
4. 地震が起きて 2, 3 日間はすべて自分で対応策を考えなければならない。他人は頼れない。まず重要なことは衣食住である。水が第一、次が食料、防寒具、それからトイレである。食料は何かかなるが、水は水道が出なくなるので確保が大変。トイレも意外と問題となるので、今から考えておいた方が良い。
5. 家屋の崩壊が一番怖い。耐震の家にいるから大丈夫と思っていると思うが、液状化現象が起きれば、6 階建てのビルでも崩壊するほどであるから、安心とは言えない。松風台は沼地を埋めたので、液状化現象の危険性は大きい。要は、まず自分の身内の命を守ることである。次に 3 日間は自力で、生きていく必要があるので、備蓄も重要である。1 週間以内には、国や自治体の救援体制が整うから、それまで持ちこたえるかである。

私の道中雑記から

白井久壽夫

鈴鹿越え 一息つくは 広重の

雨の土山 旅籠屋の跡

津を後に 結城神社の したれ梅

雲出川辺の 常夜燈の明かり

東海道 伊勢街道の 分かれ道

日永の迫分 伊勢まで十八

幾山河 超え去り行かば 牧水の

歌碑一番は 千本松原

梅雨空に 遠くにかすむは 八ヶ岳

高原鉄道 野辺の山駅

古の 合戦の跡 訪ぬれば

ただ草叢に 碑だけ佇む

川 柳 田中久夫

しばらくね 言い交わして 誰だっけ

加齢とは 枯れる言葉の 代名詞

医者が言う 心配ないは 危ないよ

投薬を 酒と一緒に 二日酔い